

求める会ニュース No. 946

10月全体会報告
 10月18日(水) 10:00~12:30

[検討事項]

1、収穫感謝祭について

- ・感謝祭のチラシは求める会ニュースと共に配布。多数希望の方は申し出て下さい。
- ・ろっこう医療生協：下肢筋力測定、血圧、体脂肪測定(今回無料)です。
- ・試食を工夫をし、即売をする。
- ・喫茶の部は紙皿、紙コップを使用し、会員の負担を減らしたい。
- ・200mlの牛乳が入手出来れば、喫茶の子ども、持ち帰りが軽いため即売等に利用出来るのではないかと検討する。
- ・商品のパンフレットがあれば、売り場に置いてはどうか。

2、「あしの会」との今後の取り組みについて

- ・求める会の協力もあり、配送はスムーズに運んでいる。
- ・求める会にない物(バター、チーズ等)を扱って欲しいとの要望があった。求める会用にパンフレットは作ってもらえるが、全体会、部会で話合っていきたい。
- ・今後の取り組みについては、求める会の今後の事もふまえて、慎重にまた具体的な方針も考えないと会員には解り難い。また生産者の理解も必要である。

3、「おいしいね！」シリーズ参加者とその後、どうつながっていくか

- ・ヨガのぬんさんのスタジオに感謝祭のチラシを持って行き話し合いたい。

[報告事項]

【生産者担当】

・野菜

畑のようす

夏野菜が終わりをつげ、次の野菜の苗を育てる作業が行われているが、橋本さんの畑

では、今まででも一番と思われる程の大根サルハ虫が発生し、食われては苗床を作るの繰り返しだそうです。雨続きで湿気の多い気候も相まってのようで、冬野菜に影響が出ないように工夫したいのですが、露地物での栽培は虫に苦労されるようです。

・卵

- ・市有研との話しあいで、鶏舎の管理体制の確認をした。卵は体温位のぬるま湯で洗うのがよいが難しい。卵の殻には殺菌力のあるクチクラ層があり取り除かないほうが良い。温度差をつけないように冷蔵庫に保管が良い。
- ・卵には上下があり、平たいのが上(空気調整作用がある)。とがっているのが下です。**卵の劣化を遅らせるには上下を間違えないように保管するのが大切です(高木さん)。**
- ・鶏が健康なら、卵も健康な物が出来る。

・米

稲刈りのあとの田、土壌の手入れをしています。(高木さん)

- ・**果物**：紅玉が残っています。事務局まで。

*市有研との話し合い：10月14日(土)

【会員担当】

- ・10月会員数 227名
- ・ニュース945号の兵庫、長田、北区の地域集会の場所とバス停の訂正:正しくは湊山地域福祉センター、神戸市バス⑦番石井橋下車。

【事業部】

- ・全体会の後の即売：定番品、渡辺水産の干物、ワキングたんばのパン、マル園芸の蓮根。

【広報、庶務担当】

- ・印刷：10月25日(水)セミナーの日の午後
庶務：感謝祭の案内状作成、10月末郵送

【学習・研究担当】

- ・秋の地域集会の学習用プリントをニュースと共に配送。地域集会当日にご持参下さい。当日には小冊子「かくれんぼ食品」(100円)も

読み合わせて学習します。

【会計】

・会計監査：10月19日（木）13:00～

【渉外担当】

・ビレッジライフ懇話会：10月21日（土）「北但馬の山の現状と北但西部森林組合の挑戦」
講師、佐々木傳一氏

・食料環境セミナー：10月25日（水）「子どもの心の届く支援を」

【実務部】

・現在、福本、岩本、東山の3名だが、この

人数がぎりぎりのところですよ。どなたか、お手伝いをお願いしたい。

【その他】

・市島の他の有機農業生産者は単品生産で（収入が多い）、少量多品目の生産者を探している。

・有機オーガニックの研究者である近藤和美さんの訪問をうけ、会談をした。

・来年、出雲の影山さん訪問、菜の花祭参加の計画をしている。

食料環境セミナー報告

2017・9・27（水）10:30～12:00

「子どもの健康格差 口から見える貧困」

神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科教授

足立 了平さん

“8020” この数字はなんでしょう。これは80歳で20本以上自分の歯を残そうというキャッチフレーズの数字です。水泳の北島康介やスキージャンプの高梨沙羅のように運動能力の高い人はしっかりした歯があって咀嚼する力が強いそうで、中学生での調査ではよく咬める子は、筋力、持久力、柔軟性、敏捷性、走力、跳躍力、投力すべてに高い結果が出ました。また、咀嚼中は大量の感覚情報が脳に流れ込むので脳は活発に働き、安静時に比べ20%も脳血流が増えている。

認知症高齢者の奥歯のある人とない人とは年に2回以上転倒する人が14, 8%に対して54%と多くなっていて寝たきりになる原因になっている。固いものか、柔らかいものばかりを食べるマウスの実験でも脳の老化に差が出ている。

足立先生は長田区や兵庫区、そしてポートアイランド地区での子供達の口腔を見てこられ、あきらかに地域によって差を感じられたそうです。これを健康格差といい、人種や民族、社会経済的地位による健康と医療の質の格差をいいます。虫歯にかかるのは所得や学歴が低いほど多いといいます。保険医療の知識の差よりも知識を行動に移せるだけの時間

的、経済的な生活の余裕の差から生まれる部分大きいそうで、平均寿命は延びた日本だが、寿命や病気に格差の存在、拡大がある。社会保障に国の経済的予算を使うか子供の人権を大切に思う事にかかっている。

2016年に兵庫県内の小、中、高、支援学校で歯科検診を受けた110415人中、要受診と言われた生徒が34869人で、受診した人は35%だった。残りの65%は一人親で連れて行けなかった。保護者の理解不足、経済的困難、共働き、無関心などの理由で受診しなかった。

中でも虫歯が10本以上あって、歯の根しか残っていないような虫歯が何本もあるなど咀嚼が困難な口腔崩壊と呼ばれる人が274校中、公立小中学校で93名、私立小中高校で4名いた。

歯の健康は、全身の健康につながる大切な部分で、すべての国民に良質の歯科医療を受けてほしいので

- ・子供の医療費の無料化
 - ・子供の受診のため、休みを保障するような親の労働環境の改善
 - ・養護教諭や学校歯科医との連携
 - ・検診だけに終わらせない学校現場での取り組み
 - ・社会保障の拡充
 - ・窓口負担の軽減
- などに、今後力を入れなければいけないとむすばれた。

（ジェームス山G 高橋京子）

市有研との話し合い



10月14日(土) 会場：市島町ライフピア 参加者：(市有研) 一色さん、大谷さん、橋本慶子さん (求める会) 大野、岡部、小浦、東山

今日の集まりでは、まず、卵についての確認をしました。リスクを減らすために、取り忘れには充分注意し、取り忘れた卵は出荷しないこと。定期的な鶏舎の清掃をお願いしました。求める会としても暑い季節には生食をしないように注意喚起を行うことを約束しました。

畑の様子ですが、今年は大根サルハムシが大量発生していて、育苗の段階で、苗が食いつくされ何度もやり直しているそうです。寒くなれば定植しても育たなくなるので、今年白菜があまり出荷出来ないかもしれません。一色さんは定期的に畑と水田を交換することで虫を退治する効果が、最近はあまりなくなっていると言っておられました。

出荷作業も大変だとは思いますが、魅力的なコテナにする工夫もお願いしました。有機農業も単品を大量に作る時代になったそうです。少量多品目のやり方に参加する若者はなかなかいないようです、市有研退会后、大谷さんは、栗や桃、いちじくなどを育てたいそうです。何年後かに大谷さんのいちじくが食べられるかも。お楽しみに！

(松浜 G 東山真紀子)

近藤和美さん来訪

10月13日午前、所沢市在住の近藤さんが求める会を来訪されました。近藤さんは、ワシントン州立大学で社会学博士号を取得され、現在は中央大学講師。専門は「農業と食の社会学」「環境社会学」「コミュニティ研究」です。

今回来訪されたのは近藤さんが、私たちがやってきた産消提携をモデルの一つとして始まったアメリカのCSA (Community Supported Agriculture) 運動の現場を訪ね見聞した上で、日本の提携運動の現在に目を移したとき、有機農業に関心を持った新規就農者が増えているのに、有機農業生産者と提携し長く支えてきた消費者の姿がよく見えない、どのような活動をしてきて、今どのような問題を抱えているのかということを知りたい、ということでした。応対をしたのは、大野さん、東山さん、岡さん、児玉さん、飛田で、面談時間はほぼ3時間でした。

一人ひとりが求める会へのかかわりの動機を話し、続けてきた提携への思いとしては、提携の理念を掲げて「顔の見える関係」でありながらも、実際には生産者と消費者の信頼関係を構築し継続するのがどんなに難しいことか、などが語られました。具体的には、野菜の腐りなど品質の問題や何週間も同じものが来るなどへの不満、もう少し共に有機農業運動をしていると感じられないかなど。

では、なぜ続けるのかについては、自分で野菜を作ると難しく改めて市島の野菜が立派だと思ったこと、野菜も他の品物もおいしくて安心できること、活動が世直しの役割を果たしてきたと思えること、本音を出しやすい仲間がいること、などが話されました。どの意見も40数年続けてきた会と共にあった人の重みのある実感だったと思います。

私たちが願う「次世代に引き継ぐ」とは、若い人が入会して会を引き継ぐという形だけではなく、提携の理念と活動が若い研究者である近藤さんに伝えられ、記録などで残るとしたら、これも次世代に引き継ぐ一つの形だろうと思っています。

(鶴甲団地G 飛田みえ子)

11月のカレンダー



- 11月15日(水) 全体会
- 11月20日(月) 自動引落日
共同購入申込締切日
- 11月22日(水) 食料環境セミナー
- 11月25日(土) 収穫感謝祭
- 11月29日(水) 求める会ニュース印刷日

食料環境セミナー

「子どもの貧困と学校給食」

- 11月22日(水) 10:30~12:00
- 跡見学園女子大学マネジメント学科
教授・鴈(がん)咲子 さん
- 会場: 神戸学生青年センター
- 参加費: 600円
- 託児: 無料 必要な方は前々日までに予約してください。
- TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878
- 主催: (公財) 神戸学生青年センター

11月全体会検討議題

- 求める会の今後とあしの会との取り組み
- 福島支援先について
- 収穫感謝祭、準備状況の確認など

お知らせ

秋の端境期は10月いっぱいまで終わり、11月から通常配送になります。
ただ、雨天が続いたうえに、台風21号による被害もあり、品薄状態になる可能性もあります。ご了承ください。

大豆畑トラスト 大豆収穫祭

- 11月6日(日) 10時~
- 市島町与戸公民館に10時に集合
- 参加費は500円(昼食代込)
- 参加希望の方は、名前・住所・連絡先、同行者がある場合は、名前・年齢を明記して、**FAX 072-773-6122** まで申し込んでください。



第40回 収穫感謝祭 雨天決行 入場無料

Organic festival オーガニック・フェスティ

2017年11月25日(土)10:30~14:30

会場: 神戸学生青年センター(駐車場なし)

楽しい催し物

- * ジャンケン大会
- * 子供の遊び場
- * 芥川さんの陶器市
- * フランクフルト
- * 影山さんのアーユルヴェーダ

健康チェック

- * 下肢筋力測定
- * 体脂肪測
- * 血圧
- 10時半~12時半 無料
- ろっこう医療生協

「おいしいね!」が育てる元気
生産者と話そう! Part II
◆試食コーナー 生産者のこだわり
食材を食べてみよう(なくなり次第終了)
豚肉試食は①11時~②12時~
◆ミニトーク 生産者の物語を聞こ

食堂(11時~)・喫茶・お茶席

- * 旬の野菜たっぷりの豚汁(有機米・漬物付)
- * 手作りケーキとコーヒーor紅茶
- * おうすと手作り和菓子

安心な食品・食材の即売

- * 米・野菜・果物・ハム・調味料・お茶・牛乳・
- * 手作りケーキ・佃煮・ふりかけなど

展 示

- * 添加物の話~あぶない添加物の見分け方~



★マイバッグをご持参ください!